

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

下永谷地域ケアプラザの圏域エリアの人口は18,702人(R4.3)、高齢者人口は5,397人、高齢化率は28.85%です。孤立傾向や認知症高齢者、終末期、精神疾患等、様々な相談も増えています。地域住民や民生委員、医療機関など関係機関と協力体制を構築し、支援していきます。気軽に立ち寄れる福祉保健活動の拠点としての役割を幅広い年代層の方に周知し、福祉のまちづくりを推進していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域に出向きケアプラザの役割や行なっている事業等について、チラシを配布し説明を行なうとともに、「ケアプラ通信」を定期的に発行いたします。 「ケアプラ通信」を地域住民や関連施設などに配布・掲示し、情報発信をおこないます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不定期発行だった高齢者を対象として発行する「つながる通信」を定期発行します。 介護予防情報だけでなく、様々な地域情報も併せて提供をするとともに、ケアプラザの相談機能・役割を周知します。福祉施設などにも配布し情報を共有します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症予防による自粛生活から体力が低下し、相談に繋がるが増えているため、現在の体力の把握や生活改善を促す介護予防講座を開催します。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地域に出向きケアプラザの役割や行なっている事業等について、チラシを配布し説明を行なうとともに、「ケアプラ通信」を発行した。  
法人ホームページを地域包括支援センターの役割など指定管理事業について分かりやすく示しリニューアルした。  
アセスメントの結果からコロナ禍で活動が減少した町内・自治会館で介護予防事業「GOGO健康講座」を行なった。  
活動の場が減り交流の機会が減ったことによる心身の低下など潜在化したニーズの把握に努める目的で、体力測定を3回実施した。  
春に開催した地域ケア会議のフォローで地域懇談会を開いた。懇談会にて対象者を含んだエリアの住民支え合いマップを作成したことによって、地域における継続的な見守りにつながった。今後も機会があれば継続して取り組んでいきたいと考えている。

区からのコメント

キャラバンメイトとの取組みや介護者のつどいを継続していただいたことは、認知症の方やそのご家族にとって、とても心強かったと思います。介護者のつどいは昨年度よりも開催数を増やし、継続して参加していただけるよう工夫をしていただきました。また、地域ケア会議は計画的、継続的に実施することが出来ており、地域の方が課題解決に向け主体的に取り組める結果に繋がっていると感じます。介護サービスだけでなく地域のたすけあい活動や元々あった近隣等との関係性を活かすことで、具体的な支援策の検討ができました。引き続き把握された地域課題を5職種で共有し、地域の方と共に解決に向けた取組みが展開されることを期待します。  
HPや広報誌においてケアプラザが地域の身近な福祉・保健の拠点であることが広く周知されていると思います。引き続きの啓発活動を期待します。コロナ感染拡大を受け地域ニーズも変化したと思います。今回実施した体力測定のように課題を抱える人のニーズを把握しそれに合わせた事業実施をお願いします。また定量データ、地域の主要人物の情報、制度では対応しきれない個別の困りごととそこから見える地域課題の抽出は、地域支援に不可欠なものですので支援チーム会議で活用できるよう区役所・区社協との共有にも期待します。